

令和５年度 稲沢市地域自立支援協議会 第３回地域生活支援部会 会議要旨

【日 時】令和６年２月１５日（木）午後２時～午後３時１５分

【場 所】稲沢市役所 第１分庁舎 ２階 第３会議室

【出席者】地域生活支援部会委員６人、事務局５人

【欠席者】なし

あいさつ

１ 協議事項

（１）地域生活支援拠点の充実

・評価結果における不足部分の充実

１）今年度の取り組みの進捗について（事務局から説明）

委員 Ａ 緊急時対応ケースで区分やサービス利用がないケースが目立つ。こういった潜在的なケースはもっとあるのか。

事務局 あると思う。

委員 Ａ 緊急時対応をしたＢさんは担当相談員がついていないのか。

事務局 相談員はついていない。基幹センターの電話番号は伝えているため、何かあれば連絡が入ると思う。

部会長 区分なしのかたというのは、その後、区分申請はされているのか。

№４のＤさんは、緊急時の登録に向けて区分を申請した。近々区分認定調査を行う予定。やはり区分を取ったほうがいい。このケースは妻の担当相談員と一緒に担当することになる。

委員 Ｂ 登録者ごとの支援会議について、サービス等利用計画を立てているかたに、緊急時に想定されるヘルパーやショートステイを計画に落とし込んで、支給決定されたほうが良いのか。

事務局 リスクが想定されるかたはあらかじめ区分を取り、短期入所を体験し、緊急時対応事業に登録したうえで、登録シートに基づき、緊急連絡先や対応方法を皆で話し合っておくところまでできると一番安心だと思う。

委員 Ｂ 実際、緊急時がなければそのまま利用されずに終わることもある。

事務局 １年ごとの更新時に、緊急時のシートも見直していくこととなっている。

部会長 今の内容は、相談事業所連絡会で再度話したほうが良い。ヘルパー事業所は今後、そういった相談が多くなると思う。

委員 Ｃ その時その場で、行けるかどうかは分からない。ニーズのある時間というのは偏っているため、余っている時間はあるが、欲しいと言われる時間は人がいない。

委員 Ｄ 出来る限り対応したいと思っている。№４の事例のように、自費利用の価格設定を会社の決まりに沿って提示させてもらったが、これは事業所によってバラバラなのか。

事務局 グループホームの体験利用は実費になるので、各事業所によって違うと思われる。

委員 E 実費となると、どんなものが含まれるのか。

事務局 電気代など。家賃まで入れて日割り計算にするところもある。

部会長 受け入れる側としては、どこまで計算していいのか悩む。

事務局 今回、3 事業所に利用料を聞いたがそれほど大差はなかった。食費込みで 1 泊大体 5,000 円～7,000 円くらい。

委員 E 市で価格設定をお願いすることは出来るのか。

事務局 居住系事業所連絡会などで情報交換していただければと思う。

ちなみに、今回 3 事業所とも日中支援型だった。普通のグループホームがパンフレットで実費の体験を記載しているのはおおむね 2,500 円～3,500 円（食費込み）だった。

地域生活支援拠点 令和 5 年度の課題について（事務局から説明）

事務局 「あらかると」に掲載する項目や、拠点登録事業所連絡会でこういうことを話したほうが良いなど、意見があればお願いしたい。

部会長 「担当者」は異動などがあるので、無くて良い。

委員 A 送迎が可能かどうかの項目を追加してはどうか。

部会長 来月に初めて開催する作業部会でも意見をもらって充実させていきたい。

(2)災害時の対応等に関すること

・関係機関の連携強化、意識統一等（事務局から説明）

部会長 本会議に出席し、医療的ケア児支援ネットワーク会議でも災害時の話が出ていると聞いたが、地域生活支援部会を災害に関する協議の場にするという事務局案が出た。私としては良いと思うが皆さんはどうか。（異議なし）

異議がないようなので、承認ということで進めて欲しい。

災害のことについては、何から手をつければいいか難しいところもあるが、次年度以降きちんと考えていかなければならない。前回の部会で説明を受け、今まで避難所まで行く訓練をしていたが、そうではないことを知ったが、事業所全体にも知ってもらったほうが良い。実際に自助・共助・公助といっても、公助はないものだと考え自助・共助でやっていかなければならない。「避難所に行く」のではなく、自分たちのところで何かやっていかなければならない、まずは事業所連絡会などで、災害対策について次年度初めにやってもらったらどうかと思う。皆さん、何かあるか。

委員 C 今回の能登半島地震からのヒントは結構あると思う。福祉施設は避難所としての機能が全然できなかったとニュースでも報道していて、結局どこかがボランティアの気持ちでやらなければならないのかと思った。前回の部会で聞いた話は、BCP

の委員会があったのですぐに法人のほうに話した。話を聞けて本当に良かった。直接話していただくと事業所はやらなきゃと思える。

委員 B 災害時の対応等に関することということであるため、当事者の方々を対象にした協議をしていくということか。

部会長 この部会は、事業所のかたが多いので難しい部分もあるが、そういったところも含めて意見をいただきたい。

委員 B 事業所単位で考えていくのか、当事者で考えるのか。フローがあると分かりやすいと思う。災害が起きた時にどうしていくのか。災害は洪水や地震が想定されると思うが、それぞれの災害に応じてどういう流れで動いていくのかを、資料として作ると分かりやすい。

委員 A BCP が義務化されるので、どこの事業所も作ることになると思う。BCP の内容を事業所ごとに検証していかないと、いざとなった時動けないし、災害時に稲沢市でこういう状態になりますということを全体で周知すると、各事業所で見直しが必要になってくると思う。作って終わってしまうと、いざという時、能登半島地震でも全く動けなかったと聞いているので、訓練が必要になってくる。

部会長 どの施設も BCP を迷いながら作られていると思う。

委員 A 保険会社でもフォーマットを作っていてシミュレーションもできると聞いた。そういうものを活用してもいいかもしれない。

部会長 まずは前回、部会として防災安全課から聞いた話を他の事業所のかたに広めたいという意見が多いが、そういう方向ですすめてほしい。

事務局 調整する。

部会長 いつでも見られるコンテンツみたいなものがあるといい。災害に関することで他に意見がなければ、私から 1 点確認したいことがある。介護タクシー事業所の一覧は相談員にとって大変ありがたいが、これはいつから活用できるのか。

事務局 今年度中には市 HP に掲載する予定である。

部会長 「あらかると」にも掲載できると良い。

事務局 「あらかると」にこの一覧の QR コードを掲載することを検討したい。

部会長 その他に何かあるか。

事務局 地域生活支援拠点について、令和 5 年度の取り組みの評価を来年度 1 回目の部会で実施する。